



chapter1

The GAP Index Framework



中嶋ゼミ 2012/10/23
英米学科 杉村 麻佑

before examining the results...

▶ GAP Indexはどのように成り立っているのか

most important assumption

→最近の退職に関する制度は将来変わらない

2 exception

→給付金制度や退職年齢の変化

労働者の保険料値上げの際の高齢者の受給額

purpose

→高齢化時代を迎える各国が、

それに対していかに準備ができているのかを図ること



▶ 対象の期間

2007年～2040年

※2007年：near -and long termを比較する際に都合が良い

2040年：人口動態の移り変わりがほぼ完成するため

→30年以内にこの人口問題を解決の方向へ向かわせることがカギ
(30年以内に解決は困難である)

→早く解決の糸口を！



▶ near term

2007年

→2008年から始まった経済危機を考慮

2010～2011年

→OECD or IMF or national governments

2012～2015年

→財政状況が経済危機以前の状態に戻ると仮定



▶ long term

first assumption

- economic side

→世界のGDPを予測

- fiscal side

→①2015年以降、各国は”debt neutrality”
GDPのシェアに変動なし

second assumption

- debt neutrality になった後のGDPにおけるシェアは一定
- 給付金の支出を予測してほとんどの国は増税



▶ government benefit

- public pension (全ての社会保険)

- まだ取り入れられていないものも含む
 - それぞれの国のルールを考慮

- health benefits (長期的なものも含む)

- 医療の発展や治療に関する可能性が
 - 1人当たりにかかるコストを上昇させている

- other benefits

- 障害者手当、失業手当、住宅扶助金 etc...



► income adequacy

household income

- employment income
- asset income other than funded pension income
- funded pension income
- public benefits
- family transfer



GAP Indexにおいて

{ elderly→60歳以上
nonelderly→60歳未満

60歳以上≠全員退職している

60歳未満≠全員働いている

➡ 60歳未満で働いていない人、60歳以上で働いている人を統計に反映している
(世代間の負担などを比較できるように)

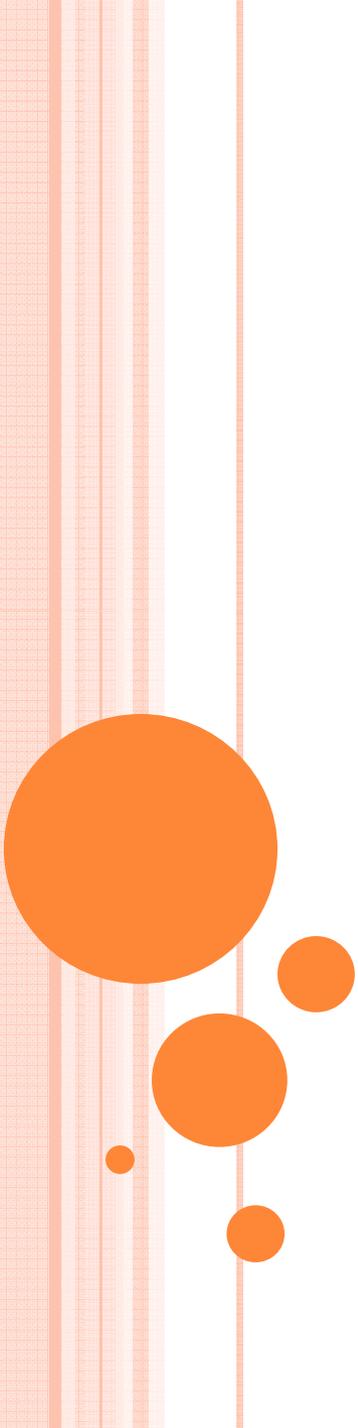


▶ GAP Index の読み方

“preparedness” を絶対的な値でみるのではなく、
それぞれの国を比較してみること

→労働者の負担がより少なく、退職者の生活水準がより高いほど、
高齢化に対する備えが整っているといえる。





THE CHALLENGE OF GLOBAL AGING INTRODUCTION

2012/10/23 中島ゼミ

英米 橋本 奈津美

○ Falling fertility (出生率の低下)

○ Rising life expectancy
(平均寿命の上昇)



• Developed World

- Pay as you go system (賦課方式)
- 年金システムの改革
- 退職年齢引き上げ

• Developing World

- Grow old before grow rich (裕福になる前に高齢化)
- 社会福祉を整える前に高齢化が進んでいる



○Increasing immigration (移民受け入れ)

オーストラリア、カナダ、アメリカ

○Pronatal policies

フランス、スウェーデン

各国がどのような政策をとるのが大変重要に
なってきている！



THE GLOBAL AGING PREPAREDNESS (GAP INDEX)

Gap Index

- Fiscal sustainability (国庫収入継続性)

- Income adequacy (収入適性)

- pension (年金)

- health benefit (医療保障)

- living standard

- private pension provision (企業年金支給)

- labor force participation rates (労働参加率)

- old age safety net (高齢者生活保障)

- family support networks (家族のつながり)

The Fiscal Sustainability Index

10月23日 中嶋ゼミ

国際関係学科 田中 亨弥

“持続不可能なものは持続しない”

- ハーブ・スタイン

- Public Burden
- Fiscal Room
- Benefit Dependence



1, 高齢者を支える公共負担

- Benefit Level

➡ 1位 インド
20位 スペイン



- Benefit Growth

➡ 1位 チリ
20位 スペイン

➡ TABLE 3 参照



2, 高齢者を支える資本運用

- Tax Room

➔ 1位 インド
20位 スウェーデン

- Budget Room

➔ 1位 インド
20位 スペイン

- Borrowing Room

➔ 1位 チリ
20位 アメリカ

→ TABLE6参照

